



広報 **たまか**わ **4**
2005

<http://www.vill.tamakawa.fukushima.jp>

No.464

中、小針竹千代さん宅の金毘羅桜

平成17年度 玉川 村予算のあらまし

一般会計は29億3,150万円 特別会計は総額22億8,967万円

特別会計

国民健康保険	681,848 千円	簡易水道事業	19,234 千円
老人保健	699,419 千円	農業集落排水事業	433,804 千円
介護保険	259,321 千円	上水道事業	196,053 千円

生活環境の整備
 村民の生活に直結した道路整備として、基盤整備促進事業で2路線、農村総合整備統合補助事業で2地区、地方道路交付金事業で2路線整備します。

下水道の整備については、今年度に須釜地区の処理施設を建設し、18年度の一部供用開始を目指します。

健康づくりと福祉
 「元気なたまかわ21計画」を推進し、障がいの発生を未然に防止する保健指導を進めます。3月に策定した「次世代育成支援行動計画」に基づき、子育て支援事業に具体的に取り組みとともに、育児相談や虐待早期発見に関する地域連絡会議を開催します。

身体障がい者や知的障がい者福祉では、引き続き「支援費制度」による各種サービス利用の普及と、自立のための生活支援に目を向けるとともに、新たな「障がい者計画」の策定を進めます。

環境衛生
 法に基づく分別収集も3年

主要な施策について

目を迎えたことから、リサイクルによる分別をさらに徹底するとともに、できる限りゴミの減量化に努め、循環型社会の形成を目指します。

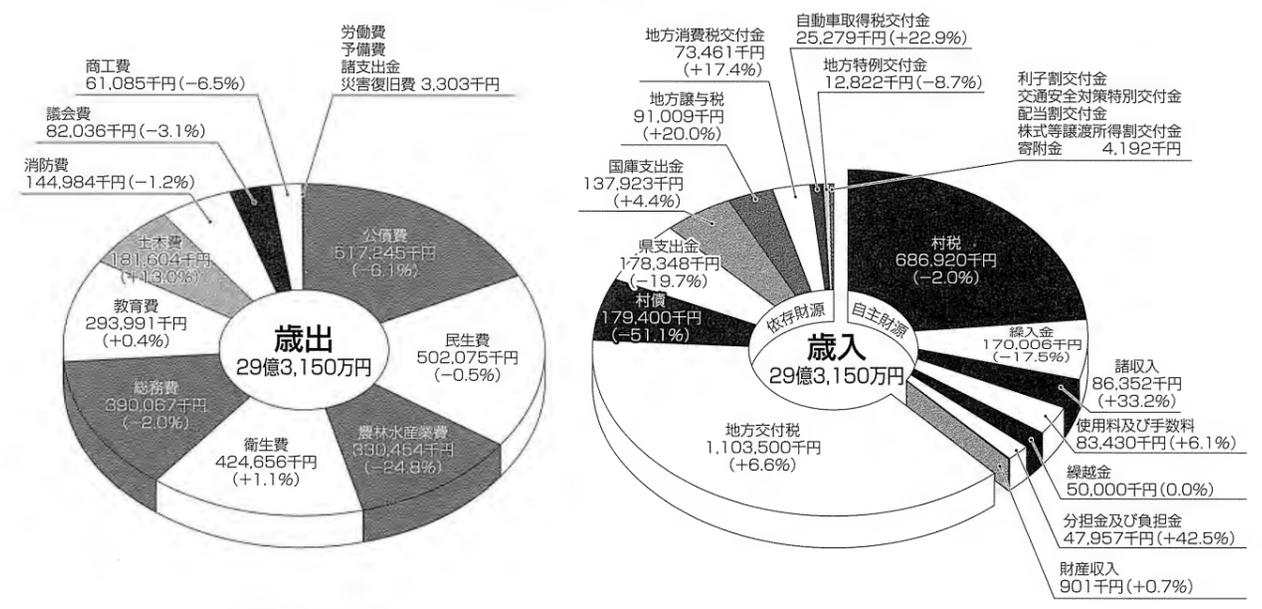
下水道の該当地域以外は、合併浄化槽の整備を進め、環境にやさしい生活の推進を図ります。

農業の振興
 農業を取り巻く情勢はめまぐるしく変化し、より厳しさを増している中、安定的で生産性の高い農業を展開するため、消費者ニーズに的確に対応した、付加価値の高い農畜産物の生産を支援します。

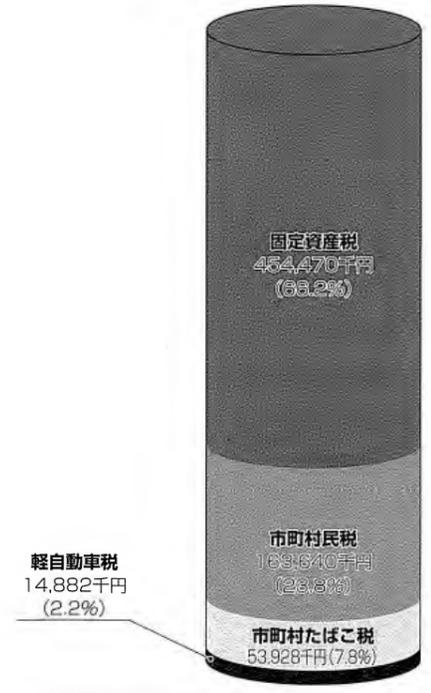
商工業の振興
 商工会と連携を図りながら、経営者の育成や商工業の活性化を進めます。

教育の振興
 豊かな人間性や、新たな社会の変化に対応でき創造性や生きる力を持った子どもを育てるため、教職員の資質の向上を図り、学習指導方法の改善と家庭と地域との連携をより一層強化していきます。

一般会計



村税の内訳



()内は前年度対比

平成17年度各種会計予算決まる

平成17年度の一般会計と特別会計の予算が3月定例議会において可決決定されました。平成17年度については、地方交付税は前年度対比で6.6%の増、地方譲与税も増となりましたが、村税をはじめ県支出金が大幅な減少となっており、従前にも増して歳出の徹底した見直しによる抑制と重点化を進め、緊急性や効率化による事業調整を行なった予算の編成となりました。

この結果、一般会計は前年度の当初予算より1億3,975万円、率で4.6%減少し、29億3,150万円となりました。

また、簡易水道事業特別会計は、20.4%減の1,923万円、農業集落排水事業特別会計は、須釜地区の処理施設の建設などにより、30.7%増加し、4億3,380万円となりました。

特別会計については、国民健康保険特別会計が、2.4%増の6億8,184万円、老人保健特別会計が2.5%増の6億9,941万円、介護保険特別会計は0.9%減の2億5,932万円となりました。

用語の解説

自主財源
 村が自主的に収入しうる財源

依存財源
 国や県から定められた額を交付される財源

地方交付税
 地域によって地方税の収入額に差があることから、地方財源の均衡化を図るために、国税のうち所得税、消費税などから一定割合の額を国が交付する税

繰入金
 特定の目的のために積み立てていた資金を取り崩すこと

村債
 長期間で返済する村の借入金

国庫支出金・県支出金
 村が事業を行う場合に、国や県が事業費の一部を助成するお金

地方譲与税
 本来は地方税として徴収すべき税を、課税方法などの理由から、いったん国が徴収しその後村に譲与するもの

公債費
 村が借り入れた借入金の返済金

玉川村生誕50周年を祝う



盛大に記念式典開催

合併50周年記念式典と公共事業総合落成式が、3月25日にたまかわ文化体育館で開催されました。

式典には、村関係者や招待者、来賓など約400人が出席し、合併50周年と公共事業の落成を盛大に祝いました。

式典は、午前10から行われ、車田村長が「今日の玉川村が目覚しい発展を遂げることができたのは、関係者と村民とが心を一つにして努力を積み重ねてきた賜物です」。

これからも、村民の皆様とともに手を携え、新しい時代は「ぐくんでまいります」などと式辞を述べました。続いて須田議長があいさつを述べたあと、玉川村の50年のあゆみと事業報告、そして来賓の方々より祝辞が述べられました。

功労者など表彰

式典では、村の発展、事業の遂行に尽力された方々に対する各種表彰、感謝状の贈呈が行われました。



受賞者は次の方々です。

式辞を述べる車田村長

- 関根秀勝 阿部金四郎 我妻徳雄 大和田尚 佐藤吉春 矢吹隆雄 有賀秀夫 草野久子 小原明昭 我妻勝雄 佐藤ハルイ
- 感謝状 渡邊助次郎 溝井賢一郎
- 《公共事業総合落成に基づく表彰》
- 感謝状・設計関係 福島県土地改良事業団体連合会 (株)日本技術ガイドセンター (有)秀栄設計事務所 昭和技術設計(株) (株)清水公夫研究所 (株)邑建築事務所 (株)共立コンサル
- 感謝状・工事関係 (株)荏原製作所東北支店 (株)城野組 佐田建設(株)東北支店 (有)小山田産業開発 鹿島建設 (株)東北支店 三金興業(株) 庄司建設工業(株)郡山支店 シンク・エンジニアリング(株) 大日本インキ科学工業(株) 高田工業(株) 水谷工業(株) 村越建設(株) (株)イワキ (株)北日本ポリーリング (株)ニノテック (株)山元工業所 (有)鈴木建設
- 感謝状・用地協力 須藤喜徳 熊田富一 須藤久雄 圓谷善之 佐藤為雄 坂本政勝 圓谷善一 鈴木孝吉 (次ページへ)

《合併50周年記念による特別職等感謝状》

- 小針千代之助 圓谷信男 小針康敬 角田文弥 佐久間倉太 宗形友三 塩田征二郎 高林浅男

《合併50周年記念に基づく表彰》

- 一般表彰 西川良英 小林豊司 須田福廣 関根正 三瓶力 小針武矢部美枝子 矢吹貞幸 矢部操 塩澤藤雄 小針薫 圓谷房夫 須釜保明 草野今朝夫 小原重孝 塩田好一 湯澤英雄 眞弓政典 高林浅二 近内道夫 西館英範 矢部義一

眞野目さんに感謝状



福島行政評価事務所より眞野目さんに感謝状が伝達されました

4期8年間にわたり行政相談委員を務め、このほど退任した眞野目喜正さんに総務大臣感謝状が贈られました。また新たな委員には小針常美さん(中)が選任されました。なお、次により「春の行政相談所」を開設しますので、お気軽にご相談ください。

日時・場所

5月17日(火)
午前9時から11時30分 役場北庁舎会議室
午後1時30分から4時 須釜公民館講義室



新しく行政相談委員に選任された小針常美さん



鹿谷郷長も来村

当日は、玉川村と友好都市提携を結んでいる台湾の鹿谷郷からも、陳錫梧郷長をはじめ多くの方が出席し、式典に花を添えていただきました。

賞状を贈られる受賞者



祝辞を述べる鹿谷郷の陳郷長

- 鈴木嘉直 熊田義明 大和田和子 田子武幸 須藤登 野崎謙一 矢部アキ 須藤祐良 矢部重之 小針金之 眞弓音治 眞弓喜春 眞弓善次 眞弓敬吉 溝井千鶴子 眞弓喜代一 佐藤亨 佐藤文雄 曲山廣一郎 曲山嘉昭 佐藤一男 眞弓正光 眞弓誠 曲山傳治 矢吹義隆 溝井貞光 溝井善行 関根好光 矢吹一須藤大治 溝井喜代美 関根昇 吉田浩則 溝井宇一 溝井實 矢吹太郎 溝井英雄 関根義勝 矢吹源一郎 溝井源二 溝井鐵彌 首藤三千雄 添田信一 関根一夫 小針常美 関根竹治郎 鈴木榮 小針不二夫 小林久二夫 須釜保明 須藤寛一 鈴木信四郎 磯目幸三郎 熊田和也 川崎美智子 小林周之助 鈴木朝松 小林利夫 小林茂夫 小林栄 國井清志 矢吹貞典 仁井田保雄 吉田喜久雄 大竹ミチ子 大竹美重 草野美好 矢吹タツ

《表彰条例に基づく表彰》

感謝状 矢部和子 東京玉川会 熊田藤作

市町村合併に関する提言書提出

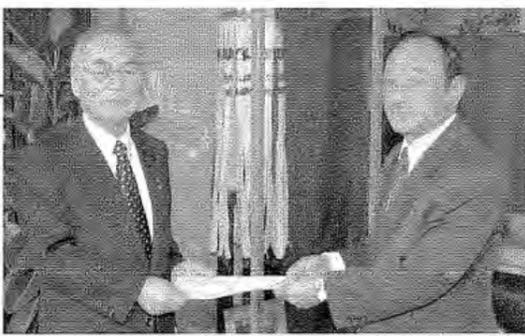
玉川村議会では、昨年の6月に市町村合併問題等調査特別委員会を設置し、これまでに先進的に取り組んでいる自治体等を視察研修するなどして、合併問題についての調査研究をしてきました。

このほど、それらの調査結果等についてまとめられ、提言書として議会から村に提出されました。

提言書は須田議長から車田村長に手渡されました。

提言書の内容は次のとおりです。

1. 村で設置した村民代表による合併研究会及び庁内合併研究会の答申内容等、あるいは村が自立を選択した経緯、将来における財政シミュレーション、行政改革推進委員会の答申内容、住民アンケート調査の結果等について、住民に情報提供すべきである。
2. 村が抱える財政的課題をはじめ、多くの課題に対処するため、将来の方向性等について住民に説明すべきである。
3. 行政事務効率の向上と住民サービスの向上、及びコスト削減を図るべく、広域行政事務の連携強化を進める必要があることから、調査研究会の設置を検討すべきである。
4. 合併問題も含めた将来のあり方について、議会と執行部とが話し合うことができる懇談会的な組織の設置、近隣市町村と定期的に情報交換ができる機会を設定すべきである。



車田村長に提言書を手渡す須田議長

別れと出会い

3月は別れの季節、そして4月は新たな出会いの季節です。

今年も村内の各学校などで、3月には卒業式が行われ、慣れ親しんだ学び舎を巣立ち、そして4月には入学式を迎え、新たな出会いとともに新たなスタートをきりました。



須釜児童館の修了式



玉一小の卒業式



すがま幼稚園の卒園式



須釜中の卒業式



須釜小の卒業式



いづみ幼稚園の入園式



泉保育所の入所式



泉中の入学式



川辺小入学式当日の登校風景

合併50周年を記念し焼酎を新発売

玉川村酒販店会ではこのほど、玉川村合併50周年を記念して、純米焼酎「おつじ」を製造、販売しました。

この「おつじ」は、玉川村産のコシヒカリを100%使用しており、減圧蒸留によりすっきりした飲み口が特徴となっています。名前の由来は乙字ヶ滝から。アルコール度数は25度。7



20ml入りで1,260円にて村内の酒販店で発売しています。ぜひご賞味ください。問い合わせは玉川村商工会57-2250まで。新発売された「おつじ」

空港テナント会が益金を寄付

福島空港テナント連絡協議会では、先に空港内で開催された空港感謝祭の益金の一部を、村社会福祉協議会に寄付しました。空港感謝祭は、各種特産品の販売や大せと市など多彩なイベントを開催、多くの人でにぎわいました。当日は、同協議会を代表して、レストランシャロンの遠藤店長が村社会福祉協議会の会長である車田村長を訪れ、寄付金を手渡しました。



車田村長に寄付金を手渡す遠藤さん

赤十字奉仕団が研修会

玉川村赤十字奉仕団の研修会が、3月17日に就業改善センターで行われ、約20名の団員が参加しました。研修会では、日本赤十字社福島県支部の岸波ボランティア係長を講師に迎え、地震災害の救助活動についての講話を聞いたあと、毛布1枚でできる救急法など、救急車が来るまでの応急措置について学びました。



救急法を学ぶ参加者

台湾から農業視察に来村

3月29日に、台湾の桃園縣復興郷から林誠榮郷長をはじめとする視察団が、農業関係の視察で玉川村を訪れました。一行は、たまかわ文化体育館などを見学したあと、竜崎のイチゴハウスを視察。大きく甘いイチゴをほおばりながら、収穫量や栽培方法などについて熱心に質問していました。



西館会長から賞状を贈られる矢部さん

矢部さんに厚生労働大臣特別表彰

長年、民生児童委員として地域の福祉活動などに尽力され、昨年の11月に退任された矢部和子さん（川辺）に、厚生労働大臣特別表彰が贈られました。伝達式は4月6日に行われ、車田村長から賞状が伝達されました。また、当日は国民民生児童委員連合会長表彰の伝達も行われ、村民児童委員協議会の西館会長から賞状が伝達されました。

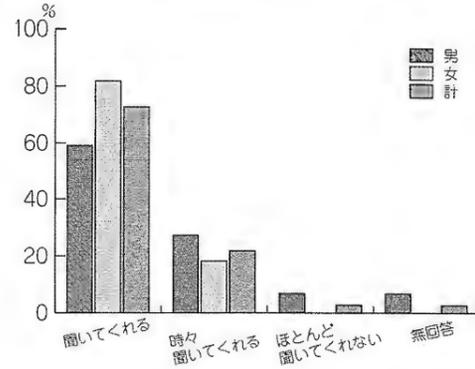
5月の健康ごよみ

- 5月
- 10日(火) ポリオ予防接種保
午後0時45分~
- 11日(水) 母親教室保
午後1時30分~
- 13日(金) 1歳児相談会保
午後1時~
- 健康体操教室文化体育館
午前9時30分~
- 16日(月) 機能訓練保
午前10時~
- 17日(火) すくすくクラブ保
午前10時~
- 18日(水) 3~4カ月児健診公
午後1時30分~
- 25日(水) 新米パパの育児教室保
午後6時30分~
- 27日(金) 健康体操教室プール
午前9時30分~

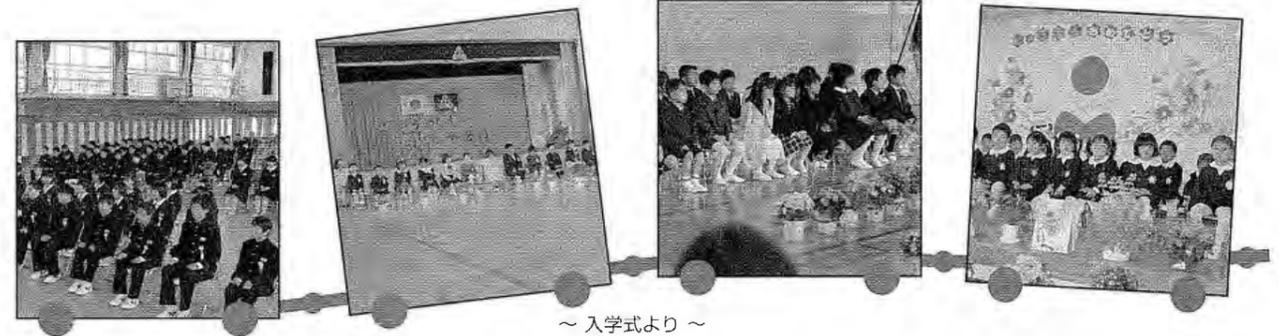
こんにちは保健師です

【シリーズ思春期保健(小学生編)⑩】

今月は、子ども達と家族の会話についてお伝えします。学校での出来事や友達のことなど家に帰って話しますかという質問をしたところ、「はい」と答えた児童は男子55.0%、女子79.5%、平均で67.5%でした。さらに、そのとき家族は話を聞いてくれるかどうかという質問をしたところ次のような結果となりました。



家族が話を聞いてくれないと答えた児童は2.7%で、家で話をしないと答えた児童と合わせると29.7%の児童が家族にあまり話を聞いてもらえないということがわかりました。
今回のアンケート結果をご覧になり、子どもの話に耳を傾けることが少なかったかもしれないと感じられた保護者の方は、なるべく意識して子どもに話しかけるなど心がけてみてはいかがでしょうか。



~入学式より~

文芸

歌愁短歌会玉川支部詠草集

独り立ちせし証しかも子の手紙遠のきており晩秋の日日
川崎 雄子
鶴と亀飾りものして念ずればどこか明るし暮れわが家も
小針 愛子
朝にして味わう春の七草の粥にしみ入る野辺の香りは
小針みね子
人のため世のためなるや保健師となりて出てゆく若者一人
真弓 はん
蜘蛛の巣を銀色に染む朝露を通して色めくコスモスの花
吉田 英祐
無縁墓地傍らなれば香や花分けて供うる安らかなれと
吉田ハツ子

村公民館

お知らせ

事業主の皆さんへ 労働保険の年度更新のお知らせ

平成17年度の労働保険の年度更新手続きはお済みでしょうか。

まだ手続きがお済みでない方は

5月20日が申告期限です

至急、最寄りの銀行、郵便局、労働基準監督署に手続きをされますよう、お願いいたします。

お問い合わせ

福島労働局総務部労働保険徴収室

☎024-536-4607

社会保険事務所出張相談日程表

場所	石川町勤労青少年ホーム会議室	須賀川市体育館会議室	開催時間
5月	19日(木)	12日(木) 26日(木)	10:00~ 15:00

年金の受給手続など、お気軽にご相談ください。
※年金手帳、基礎年金番号通知書をご持参ください。

おくやみ申し上げます

(3月届出分)

地区名	死亡者	世帯主名
蒜生	曲山 傳治	英夫
南須釜	廣川 喜友	彰仁
北須釜	矢吹 サイ	吉房
〃	矢吹 ノイ	忠幸

お誕生おめでとうございます

(3月届出分)

地区名	出生児氏名	保護者名
岩法寺	渡辺 将正	正 広
南須釜	大越 歩夢	強 也
〃	小原 昇大	拓 孝
北須釜	草野 智牌	孝 幸
山小屋	石 森 玲	正 文

村のようす

(17年4月1日現在)

- 1,945 戸 (-2)
- 7,595 人 (-28)
- 3,769 人 (-21)
- 3,826 人 (-7)



東京玉川会総会について

平成17年3月22日に役員会が開催され、17年度総会の日程等が協議されました。

総会については、次のとおり開催される予定ですので、会員の皆様の出席をお願いいたします。

なお、詳しくは後日ご案内いたします。

- 日時 平成17年7月10日(日) 正午より
- 場所 茗溪会館(文京区)

さるなし俳句会三月句会吟詠

滑り来しベンつまずく春疾風
春の雪背中に重き嬰のぬくみ
橋の名は極楽橋や風光る
春舞の一步の足袋の白さかな
のどけしや内緒話の筒抜けに
ははいの先行き止まり春寒し
あれこれと試着する子や春つらら
一抹の淋し、残し春彼岸
母と子の話はずめり水温む

今朝 仁美 美枝 公華 真知 春恵 由記 仁

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

(村社会福祉協議会)

記	蒜生	の 曲山	英夫	さんから
	北須釜	の 矢吹	吉房	さんから
	〃	の 矢吹	忠幸	さんから

富久美会石川支部
支部長 柳 忠夫さんから30,000円
福島空港テナント連絡会から50,000円

5月は水防月間です 『洪水から守ろう みんなの地域』

今月のスナップ

4月3日に行われた村の伝統行事、南須釜の念仏踊りの1コマです。
少女たちのあでやかな舞いが、見学に訪れた多くの観衆を魅了していました。



句が書かれた色紙を手に関根さん(左)と小山田さん

小山田さんと 関根さんが入選 須釜中は学校賞も受賞

このほど行われた三汀賞俳句大会において、須釜中学校の小山田恵子さんと関根歩美さん(いずれも現在は高校1年)の作品が見事入賞し、佳作を受賞しました。

今回で5回目となる三汀賞俳句大会には、全国から小学生、中学生、一般のそれぞれの部門に合わせて6,600句もの作品が寄せられました。この中で中学生の部の入賞者はたったの7名で、この中に須釜中の生徒が2名も入るという快挙。この功績が認められ、須釜中は学校賞も受賞しました。

入賞した2人の作品を紹介します。

「初雪を ルーペでのぞく 好奇心」 小山田 恵子
「夏の夜に 輝く星の 夢の数」 関根 歩美

故郷、そして玉川会の皆様、ご機嫌麗しい由と思います。私も里を離れて約半世紀、顧みれば学童時代が懐かしく思われます。

小学生の頃は、戦時中で軍歌を唄い聞きながら、物品両面で貧困辛苦の中で育ち、今では貴重な体験と思っています。

学校は小高国民学校竜崎分校場に入學。複式学級に机を並べ、友の頭を石盤で殴り、先生から算盤で叩かれた記憶。休み時間には校庭の松のリスを追い、夏休みは乙字ヶ滝の滝壺で泳ぎ、帰れば水汲み、風呂焚きが日課。秋にはイナゴを捕っては線路で遊び、初冬には教室の暖房用の炭を、岩法寺の炭焼き小屋より二人一組で、炭俵に一つ棒を通し

て担いだことも思い出されます。

かつては信仰の山として崇められた観音山も、削り取られて立派な空港となり、西に目を転じれば、黄金の波の美しい田園風景にも「うつくしま大橋」が架かり、有料道路が通り、都会からでも数時間で結ばれ、以前には想像もされなかったことが実現している。これからも近代的な山村として限りなく進展し続けることでしょう。

このような素晴らしい郷土の繁栄と発展。そして「空と緑」新「呼吸するたまかわ」のためにご尽力いただいた村民の皆様、及び役職の方々により感謝致し、益々のご健勝を祈念致します。

東京玉川会コーナー



心に残る我がふるさと

『童心に帰って故郷を夢見る』

埼玉県

鈴木正賢さん
(竜崎出身)



東京都庁新宿駅間歩行者専用地下道にて